

## 外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

## 1. 基本情報

平成27年7月1日 現在

団体名	公益財団法人 新潟市体育協会		
所在地	新潟市中央区一番堀通町3-1		
代表者(職・氏名) (所属・職)	会長 篠田 昭	電話番号	025-266-8250
	新潟市長	ホームページ	<a href="http://www.niigatashi-taikyo.com/">http://www.niigatashi-taikyo.com/</a>
市所管課	スポーツ振興課	電子メール	<a href="mailto:info@niigatashi-taikyo.com">info@niigatashi-taikyo.com</a>
基本財産 (基本金)	500,500 千円	設立年月日	昭和42年9月1日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	500,500 千円	100.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	新潟市及びその周辺の地域におけるスポーツの普及振興に関する事業を行い、市民の体力向上を図り、スポーツ精神を養うことに寄与することを目的とする。		
経営理念 経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加盟団体及び関係機関と連携を図りながら「市民総スポーツ」を推進し、健康で明るい都市づくり実現に寄与する。</li> <li>・このために「市民スポーツ活動の普及振興」「競技力向上」「組織・財政基盤の確立」を柱とした関係事業を推進していく。</li> </ul>		

## 2. 主要事業

事業名 ①			事業概要				
講習会・研修会			運動を通しての健康づくりに関する取り組みの一助とするとともに、機運の醸成を図ることを目的とし、全市民を対象に講習会、研修会を開催するほか、競技種目指導者の育成を行うために講習会、研修会を開催する。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	682	383	223	437
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市民スポーツ講習会参加者数	計画	実績	人	150	150	150	150
	180			144	112		
スポーツ指導者等研修会参加者数	計画	実績	人	200	100	100	100
	100			70	60		

事業名 ②			事業概要				
主催(共催)事業			当協会並びに新潟市及び加盟団体並びに各実行委員会が主催、共催となり、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上を目的として、各種大会を開催する。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	3,547	3,809	3,702	3,820
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市民総合体育祭参加者数	計画	実績	人	18,000	17,500	17,000	17,000
	17,135			16,962	17,377		
市民サッカー大会参加者数	計画	実績	人	1,200	1,200	1,100	1,100
	1,210			1,120	1,150		
市民綱引き大会参加者数	計画	実績	人	1,000	750	800	700
	700			520	669		
市民ゴルフ大会参加者数	計画	実績	人	350	350	200	300
	326			343	366		
「体育の日」イベント参加者数	計画	実績	人	2,000	1,500	2,000	2,000
	1,300			1,600	1,150		

事業名 ③			事業概要				
ジュニア強化事業			競技水準向上のため、ジュニア強化事業に関わる経費を助成し、加盟競技団体が行うジュニア層の育成強化等の事業に寄与する。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	7,800	8,000	8,472	9,000
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指定種目団体数	計画	実績	団体	23	24	24	27
	23			24	24		
世界に羽ばたけ！ジュニアアスリート育成事業(実施数)	計画	実績	事業			3	5
					3		

事業名 ④			事業概要				
スポーツ少年団普及育成事業			スポーツを中心とした活動を通じて、子どもたちの健全育成や地域内の交流の活性化及び生涯を通じてスポーツを楽しむ基盤をつくる。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	243	51	68	130
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指導者及び団員数	計画	実績	人	2,570	2,400	2,500	2,500
	2,464			2,433	2,553		

事業名 ⑤			事業概要				
助成事業			スポーツの普及振興並びに、その健全な発展を図ることを目的としたスポーツ大会に要する経費を、助成する。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	2,076	1,130	1,150	480
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
大会参加者数		計画	人	6,500	6,500	6,000	4,000
		実績		5,647	5,684	5,280	

事業名 ⑥			事業概要				
表彰			将来性のあるジュニア競技者で顕著な成績をおさめた者を表彰する。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	414	185	450	500
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
表彰者数		計画	人	80	80	80	80
		実績		81	29	61	

事業名 ⑦			事業概要				
国際交流事業			加盟団体が友好親睦及び競技力向上のために開催するイベントに対し支援するものである。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	14	0	120	100
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
支援件数		計画	件	1	1	3	2
		実績		1	2	4	

事業名 ⑧			事業概要				
広報活動			会報誌の発行とホームページの活用により、本会活動と取り組みの周知拡大と協会内外の情報交換の迅速化を図る。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	749	633	538	710
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ホームページアクセス数 ※H26年度途中から解析ソフト変更		計画	部 (件)	100,000	116,000	180,000	20,000
		実績		115,200	170,000	97,158	

事業名 ⑨			事業概要				
区体育協会支援事業			地域に密着したスポーツ振興の中核となる区体育協会の運営費用を補助する。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	5,640	5,714	5,407	5,413
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
大会等参加者数合計		計画	人	36,000	40,000	40,000	40,000
		実績		39,500	38,200	41,500	

## 3. 組織等の状況

## (1) 役職員数の状況

(単位：人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
役員数	26	26	27	27
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB	1	1	1	1
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	25	25	26	26
市兼任	4	4	4	4
市職員OB				
他団体兼任				
その他	21	21	22	22
職員数	4	3	4	4
常勤	0	0	0	0
市派遣	0	0	0	0
市職員OB				
プロパー職員				
他団体からの派遣				
非常勤	4	3	4	4
市兼任	2	1	2	2
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	2	2	2	2
見直し等の取組み				

## (2) 職員の状況（市派遣職員を除く。）

(単位：人)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
職員の状況	管理職				
	一般職	4	3	4	4
	合計	4	3	4	4
年齢構成	20代以下	1	1	1	1
	30代				
	40代				
	50代	3	2	3	2
	60代以上				1
	合計	4	3	4	4

## (3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算
報酬・給与等	4,515	4,522	4,532	4,528
内 市職員分	0	0	0	0
役員	4,515	4,522	4,532	4,528
常勤	4,515	4,522	4,532	4,528
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	0	0	0	0
常勤				
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
平均年収（市職員を除く。）				
常勤役員	4,515	4,522	4,532	4,528
常勤職員	0	0	0	0
見直し等の取り組み	職員給与等は、全額市から支給	同左	同左	同左

## (4) 給与等の適正化の状況（市派遣職員を除く。）

現在の給与体系		今後の見直し予定	
	団体独自の給与体系	有	予定時期 年度～
●	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕	●	その他〔 〕

## 4. 財務の状況

## (1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
一般正味財産増減の部	経常収益	28,882	27,100	27,005
	基本財産運用益	7,650	5,975	6,000
	特定資産運用益			
	受取会費	1,743	1,738	1,857
	事業収益	0	0	0
	自主事業収益			
	受託事業収益			
	受取補助金等・負担金	19,232	18,627	18,874
	その他経常収益	257	760	274
	経常費用	31,051	30,110	30,161
	事業費	21,252	20,052	23,858
	公益目的事業費	21,252	20,052	23,858
	収益目的事業費			
	(自主事業費)			
	(受託事業費)			
	法人会計			
	管理費	9,799	10,058	6,303
	評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 2,169	▲ 3,010	▲ 3,156
	評価損益等	0	0	0
	基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等				
投資有価証券評価損益等				
当期経常増減額	▲ 2,169	▲ 3,010	▲ 3,156	
経常外収益	0	0	0	
経常外費用	0			
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲ 2,169	▲ 3,010	▲ 3,156	
一般正味財産期首残高	13,576	11,407	8,398	
一般正味財産期末残高	11,407	8,397	5,242	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金			
	その他			
	基本財産評価損益			
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額	0	0	0
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	500,500	500,500	500,500
指定正味財産期末残高	500,500	500,500	500,500	
基金増減の部	基金受入額			
	基金返還額			
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			
基金期末残高	0	0	0	
正味財産期末残高		511,907	508,897	505,742

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	4,515	4,522	4,532
役員分	4,515	4,522	4,532
職員分	0	0	0

## (2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
資産の部	資産の部合計	513,040	509,109	505,954
	流動資産	12,540	8,609	5,454
	現金預金	12,540	8,609	5,454
	未収金			
	有価証券			
	その他流動資産			
	固定資産	500,500	500,500	500,500
	基本財産	500,500	500,500	500,500
	特定資産			
	その他固定資産	0	0	0
	有形固定資産			
	無形固定資産			
	その他投資等			
負債の部	負債の部合計	1,133	211	212
	流動負債	1,133	211	212
	短期借入金			
	その他流動負債	1,133	211	212
	固定負債	0	0	0
	長期借入金			
その他固定負債				
正味財産の部	正味財産の部合計	511,907	508,898	505,742
	基金	0	0	0
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産	500,500	500,500	500,500
	うち補助金			
	(基本財産充当額)	500,500	500,500	500,500
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	11,407	8,398	5,242
	代替基金			
その他一般正味財産	11,407	8,398	5,242	
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)				
負債の部及び正味財産の部合計		513,040	509,109	505,954

## (3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
市財政支出等の合計	19,232	18,627	18,874
補助金	19,232	18,627	18,874
事業費補助金	12,120	10,370	10,370
運営費補助金	7,112	8,257	8,504
設備投資に係る補助金			
負担金	0	0	0
交付金			
委託料	0	0	0
内 随意契約額※	0	0	0
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免, 建物の無償貸与等)			

※ 随意契約額とは、市との一者随意契約による委託料及び非公募による指定管理者料をいう。

## (市財政支出等がある場合) 目的, 内容, 必要性, 増減理由等

市からの補助金と基本財産運用益を除く収入は、50団体の会費と賛助会費が主であり、予算の10%にも満たないことが現状である。経済状況の厳しい中での会費等の増額は見込めず、公益目的事業が主であり収益事業もないことから市からの財政支援に頼らざるを得ない。

## (4) 遊休財産の状況

(単位：千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
純資産	511,907	508,898	505,742
公益目的保有財産	▲ 500,500	▲ 500,500	▲ 500,500
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲	▲	▲
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲	▲	▲
拋出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲
遊休財産額	11,407	8,398	5,242

## 5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

## （1）財務の健全性

指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度		
経常損益		▲ 2,169 千円	▲ 3,010 千円	▲ 3,156 千円		
自己資本比率	純資産	99.8 %	100.0 %	100.0 %		
	純資産＋負債					
流動比率	流動資産	1106.8 %	4080.1 %	2572.6 %		
	流動負債					
固定長期適合率	固定資産	97.8 %	98.3 %	99.0 %		
	固定負債＋純資産					
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %		
	資産の部合計					
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	11,407 千円	8,398 千円	5,242 千円		
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	●	有	→		
			無		① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。	○
					② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。	○
					③ 資金運用に関する情報収集に努めている。	○
				④ 元本割れのリスクはない。	○	

## （2）団体の自立性

指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0 %	0 %	0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	66.6 %	68.7 %	69.9 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	24.6 %	30.5 %	31.5 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	- %	- %	- %
	市委託料			

## （3）経営の効率性

指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度
職員1人当たり 売上高	事業収益	0 千円	0 千円	0 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	事業活動収支差額	▲ 542 千円	-1,003.3 千円	▲ 789 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	31.6 %	33.4 %	20.9 %
	経常費用			
職員1人当たり 管理費	管理費	2,450 千円	3,353 千円	1,576 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	15.6 %	16.69 %	16.8 %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称〔将来構想〕 計画期間 平成27年度～ 年度
概要・数値目標	
<p>(公財)新潟市体育協会の更なる発展を目指し「夢・理想・使命」を掲げ、今後10年を展望した「将来構想」を策定した。                      4つの重点目標の実現を目指し、今年度を実施計画を策定する。                      (① 選手強化 ② スポーツの普及振興 ③ 組織基盤の確立 ④ 体協会館の設置検討 )</p>	
	無

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
● 有	就任時期 年度～ 依頼先職種〔 〕	● 有	依頼時期 平成24年度～ 依頼先職種〔 税理士法人 〕
● 無			無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 23年度～ 〔 公益法人の会計基準に準じた事務処理の改善、実施 〕
	無

④ 人材育成の取組み	
● 有	取組内容 21年度～ 〔 公益法人対象セミナー 〕
	無

⑤ 情報公開に関する規程の整備状況			
● 有	策定時期 13年度～ 規定名称 〔 公益財団法人新潟市体育協会情報公開規程 〕	団体ホームページ掲載	● 定款等 20年度～
	無 未整備理由		● 事業内容 20年度～
			● 役員名簿 20年度～
			● 役員報酬 24年度～
			● 事業報告 20年度～
			● 正味財産増減計算書 24年度～
			● 貸借対照表 24年度～
			● 事業計画書 20年度～
		● 予算概要 20年度～	

## 6. 経営改善状況（個別の取組み）

## (1) 前年度までの評価における【今後の取組み】の改善状況

今後の取組み					
2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えたジュニア層の競技力向上や選手育成の取組強化。					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		新潟から世界に羽ばたく選手を育成するため、従来の競技団体が行うジュニア強化事業に加え、オリンピック選手育成に繋がる研修会・講習会に対して支援・助成する特別事業を実施し取組を強化した。			
① 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	競技力向上とオリンピック選手輩出に向けた取組を積極的に推進する。 ・ジュニア育成強化事業の拡充：24競技 ⇒ 27競技 ・世界に羽ばたけ！ジュニアアスリート育成事業の拡充：3競技 ⇒ 5競技			
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	ジュニア強化	計画的・継続的なジュニア強化拡充	計画的・継続的なジュニア強化拡充	計画的・継続的なジュニア強化拡充	計画的・継続的なジュニア強化拡充
工程					

今後の取組み					
賛助会員の増加やバナー広告の募集による収入拡大。					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		平成26年度は賛助会員の新規開拓に取り組んだほか、バナー広告について政令市体育協会の先進事例を調査し、専門委員会での問題提起を行った。			
② 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	当協会の50加盟団体を通して広告協賛や賛助会員募集の協力要請を行う。賛助会員拡大に向け、特典の充実を図る（体協ホームページ・広報誌・市民総合体育祭プログラムへの協賛企業名等の掲載など）。			
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	賛助会員	計画策定・募集	募集	募集	募集
工程	バナー広告	募集計画の策定	募集	募集	募集

今後の取組み					
自主財源確保の具体的な計画の策定及び実施。					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		自主財源の確保に向け大規模イベントの開催や、新潟シティマラソン受託の可能性について先進都市の事例等を調査し、専門委員会・事務局で検討した。			
③ 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	自主財源の確保は、大きなテーマであり、収益事業の可能性と併せて協議・検討する。今後、スポーツイベントの開催や新潟シティマラソンの事業受託の可能性を探り、自主財源の確保による財政基盤の確立を目指す。			
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	財源確保	計画策定	計画の進行管理	計画の進行管理	計画の進行管理
工程					

今後の取組み					
公益財団法人として、今後10年における中長期計画の策定について協議・検討する。					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		将来構想策定委員会を開催し、体協の「夢・理想・使命」を掲げ、今後10年を展望した中長期計画「将来構想」を策定した。			
④ 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	公益法人として策定した将来構想の実現に向け、新潟市スポーツ推進計画 第2次「スポ柳都にいがた」プランとの連携を図りながら、具体策となる実施計画の策定を行う。			
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	中・長期計画の策定	実施計画の策定	計画の進行管理	計画の進行管理	計画の進行管理
工程					

## (2) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

今後の取組み						
中長期計画は、P D C Aサイクルの観点からも早急に策定する必要があり、その計画の中で、団体のあり方を見つめ直し、それに合わせた団体の人員構成や新規事業のあり方を検討する必要がある。						
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		将来構想策定委員会を開催し、体協の「夢・理想・使命」を掲げ、今後10年を展望した中長期計画「将来構想」を策定した。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		公益法人として策定した将来構想の実現に向け、新潟市スポーツ推進計画 第2次「スポ柳都にいがた」プランとの連携を図りながら、具体策となる実施計画の策定を行う。 また、目標達成に向け長期的視野に立ったマネジメントが可能なプロパー職員の採用を検討する。			
	実施事項		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	中・長期計画の策定		実施計画の策定	計画の進行管理	計画の進行管理	計画の進行管理
工程						

今後の取組み						
2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ジュニア層育成の取組を期待する。						
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		新潟から世界に羽ばたく選手を育成するため、従来の競技団体が行うジュニア強化事業に加え、オリンピック選手育成に繋がる研修会・講習会に対して支援・助成する特別事業を実施し取組を強化した。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		競技力向上とオリンピック選手輩出に向けた取組を積極的に推進する。 ・ジュニア育成強化事業の拡充：24競技 ⇒ 27競技 ・世界に羽ばたけ！ジュニアアスリート育成事業の拡充：3競技 ⇒ 5競技			
	実施事項		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	ジュニア強化		計画的・継続的なジュニア強化拡充	計画的・継続的なジュニア強化拡充	計画的・継続的なジュニア強化拡充	計画的・継続的なジュニア強化拡充
工程						

今後の取組み						
市主催事業の受託可能性も含め、収益事業を検討し、自主財源確保を目指して欲しい。						
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容		自主財源の確保に向け大規模イベントの開催や、新潟シティマラソン受託の可能性について先進都市の事例等を調査し、専門委員会・事務局で検討した。				
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		収益性を見込める事業として、大規模スポーツイベントの開催について主管課と協議・検討する(1万人規模のマラソンや大相撲巡業など)。			
	実施事項		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	財源確保		調査・研究	事業の進行管理	事業の進行管理	事業の進行管理
工程						

## 7. 評価の結果

## 【団体の評価コメント】

<b>財務の健全性</b>	ここ数年は経常収支が厳しい状況が続いており、既存事業の継続や安定的な財源確保のためにも、収益性を考慮した自主事業の実施について調査・検討を進める。
<b>団体の自立性</b>	運営経費における市の補助金の割合が大きく、財政基盤の確立のためにも、自主財源確保について調査・検討を進める。また、中長期計画「将来構想」の目標達成に向け、長期的視野に立ったマネジメントが可能なプロパー職員の採用も検討していく。
<b>経営の効率性・適正性</b>	所管課、区体育協会などの役割を明確にし、経営の効率化と組織の連帯強化を図る。また、各種事業内容（ジュニア強化費の配分・大会助成金・表彰制度）を見直し、効率的な事業運営を行う。
<b>その他</b>	公益法人として「夢・理想・使命」を掲げ策定した「将来構想」の最重点目標である、新潟市からのオリンピック選手輩出に向けた選手強化策に積極的に取り組む。
<b>総括的な所見</b>	
「将来構想」の核ともなる「市民スポーツ活動の普及振興」、「競技水準の向上」、「組織・財政基盤の確立」の3つを柱として公益目的事業を積極的に推進していく。	

## 【所管課による評価】

<b>現状に対する評価</b>	平成26年度に課題の1つであった中長期計画（将来構想）の策定を行い、今後の競技力の向上についても、従来のジュニア強化事業に加えて新たな取組を行うなど積極的に取り組んでいる。 また、市民総合体育祭や「体育の日事業」などのイベント開催や地域スポーツ活動の要となる区体育協会への支援、競技団体の育成など、継続して市民スポーツ活動の普及振興に努めている。
<b>課題及び改善すべき事柄</b>	2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、競技力向上等の取組を拡大していくためには、自主財源の確保等による財政基盤の確立が課題となっている。 課題の1つであった中長期計画（将来構想）については策定を行ったため、次は実現に向けた具体的な実施計画の策定が必要である。
<b>今後の指導方針</b>	中長期計画の実施計画の策定・実施にあたり、市のスポーツ推進計画 第2次「スポ柳都にいがた」プランと連携して行っていく。 継続した課題となっている財政基盤の確立については、収益事業や市主催事業の受託など自主財源確保についての検討と併せ、オリンピック等を見据えた取組の拡大に向けて、市の支援の在り方などを検討・協議する。

## 【今後の取組み】

①	中長期計画の目標を達成するための実施計画の策定。
②	2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えたジュニア層の競技力向上や選手育成の取組強化。
③	財政基盤の確立に向けた、自主財源確保等の具体的な計画の策定及び実施。
④	

【総合評価】

	概ね良好	改善の余地がある	改善が必要	抜本的な対応が必要
総括的な所見				
今後の取組みに対する評価、改善指示事項				

【総合評価を受けての団体としての決意】

--

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

改善指示事項					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等				
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	工程				

改善指示事項					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等				
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	工程				